

今月の原因究明テスト実施状況（平成 15 年 3 月分）

平成 15 年 3 月の原因究明テストの受入件数は 2 件であり、テストを実施し回答した件数は、前月までの受入分を含めて 5 件であった。受け入れの 2 件は、消費生活センターおよび行政機関からの依頼で、商品分類は住居品 1 件および車両・乗り物 1 件である。平成 14 年度の受入件数の累計は 38 件となった。

実施・回答した 5 件は、消費生活センターおよび行政機関からの依頼である。商品分類別の内訳は、住居品 4 件、車両・乗り物 1 件である。平成 14 年度の実施件数の累計は 41 件となった。

テスト受入件数（（ ）内は年度累計件数）

商品分類 分類	食料品	住居品	光熱水品	被服品	保 健 衛生品	教 養 娯楽品	車両・ 乗り物	土地・建 物・設備	計
国民生活センター	0 (2)	0 (3)	0 (0)	0 (0)	0 (1)	0 (4)	0 (0)	0 (1)	0 (11)
消費生活センター および行政機関	0 (0)	1 (13)	0 (0)	0 (0)	0 (3)	0 (2)	1 (9)	0 (0)	2 (27)
その他	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
計	0 (2)	1 (16)	0 (0)	0 (0)	0 (4)	0 (6)	1 (9)	0 (1)	2 (38)

テスト受入商品等

商品名	件数	苦情の申出内容
電気湯沸しポット	1	電気湯沸しポットのふたの蒸気抜き部分が溶け、なおその下の内側部分も溶けており、また、ポット内部底の部分も溶けていることに気づいた。
普通乗用車	1	平成 9 年初度登録の乗用車を走行中火災が発生した。

テスト実施件数（（ ）内は年度累計件数）

商品分類 分類	食料品	住居品	光熱水品	被服品	保 健 衛生品	教 養 娯楽品	車両・ 乗り物	土地・建 物・設備	計
国民生活センター	0 (2)	0 (3)	0 (0)	0 (0)	0 (1)	0 (3)	0 (0)	0 (1)	0 (10)
消費生活センター および行政機関	0 (2)	4 (12)	0 (0)	0 (0)	0 (3)	0 (2)	1 (12)	0 (0)	5 (31)
その他	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
計	0 (4)	4 (15)	0 (0)	0 (0)	0 (4)	0 (5)	1 (12)	0 (1)	5 (41)

テスト結果の概要

受入月	商品名	経緯及びテスト依頼内容	テスト結果の概要
14/7	スライサー	スライサーがたわんで指を切った。商品に問題があると思われるので検査してほしい。	苦情品は食材をスライスする際のプレートのたわみが大きく、厚さ調節機能の位置によって、参考品2銘柄の約2倍のたわみが生じた。たわむと隙間が大きくなる。そのため特に小さな食材を切る時には危険性が高くなる。たわみを小さくする等の改善の余地があると思われる。
14/12	普通自動車	新車として購入当初よりエンジンオイルの減りが早い。減り具合に問題がないか調べてほしい。	高速走行テストの際、当該車両は参考車両に比べオイルの減りが早かった。当該車両の排気ガスは青白く、オイル減りの原因はオイル上がり(ピストンリングとシリンダとの隙間から燃焼室へのオイルの入り込み)と考えられる。オイル上がりは磨耗によるシリンダとの隙間の拡大等により生じるが、購入当初からオイル減りが著しかったとすると、正常な状態とはいえない。
14/12	電気湯沸しポット	台の上においてあったポットがひっくり返り、ふたが外れ、背中や腹に熱傷を負った。ふたが外れやすくなかったか調べてほしい。	床・置き台から転倒した時や落下した時に苦情品のふたが外れることはなかったが、転倒時にふたの開閉レバーに指などが引っかかると、ふたが開いて外れる可能性はあった。供試の参考品にはロック機構を備えたものも見られた。改善の余地があるものと思われる。
14/12	風呂水軟水化器具	風呂のお湯を軟水化する器具が使用中に爆発した。爆発原因を調べてほしい。	内部に装着されたパック電池からは、充電などの際にガス(酸素・水素)が発生する可能性がある。発生ガスが気密性の高いヘッド内部に充満し、内圧上昇により破裂に至る、若しくは作動直後にモーターのブラシで発生した火花により爆発に至ったなどの可能性が考えられる。
15/1	電池充電器	通信販売で購入し、はじめて使用したところ、充電器が高温になっており、充電中のアルカリ電池が溶けていた。商品に問題がないか調べてほしい。	一般に乾電池というものは使いきりタイプで、充電することを想定した構造ではない点、今回のテストで残量の異なるアルカリ乾電池を充電した時に液漏れが生じることがあった点から、当該充電器によって乾電池を充電することは不相当と考えられる。

<title>今月の原因究明テスト実施状況(平成15年3月分)</title>